

二〇二一年度 早稲田大学文学部 入学試験問題

学士入学試験 日本語日本文学コース

日本語日本文学に関する専門試験

一 次の文章は、十二世紀末に成立した『袖中抄』の一節です(校訂した所があります)。これを読んで、後の問いに答えなさい。なお、問いに関わる部分を太字(ゴシック)にしたところ、傍線を付し、空欄にした箇所があります。

風ふけば沖つ白波たつた山夜半にや君が一人越ゆらむ

これは、A古今歌なり。注していはく、ある人、この歌は、昔、大和の国なりける人の娘に住みわたりけり。この女、親もなくなりて、家もわろくなりゆくほどに、この男、河内の国に人をあひ知りて通ひつつ、離れやうにのみなり行きけり。されども、つらげなるけしきも見えで、河内へ行くことに、男の心のごとくにしつつ、出だしやりければ、あやしと思ひて、なきまにこと心もやあると疑ひて、月のおもしろかりける夜、河内へ行くさまにて、前裁の中に隠れて見侍りければ、夜ふくるままに、琴をかき鳴らしつつ、この歌を詠みて寝にければ、これを聞きて、いとあはれと思ひて、それよりまたほかへもまからずなりにけり、となむ言ひ伝へたる。

今案ずるに、B沖つ白波とは、たつた山といはむとていひ置くなり。白波とは C をいへば、恐ろしきものたつた山を、一人越ゆらむと詠める由、よろづの文に載せたり。人もみなその由を申すは、Dあらまし事なり。

(注) たつた山：龍田山。大和国(今の奈良県)から河内国(今の大阪府南部)へ越える道筋にある。

問一 太字にした「昔」から、「なりにけり」までの間のストーリーを要約しなさい。  
なお、主語が明確になるように、適宜語句を補ってください。

問二 傍線部B「沖つ白波とは、たつた山といはむとていひ置くなり」は、和歌のある修辞技巧について指摘したものです。その修辞の名称を示し、働きについて説明したうえで、「風吹けば…」の和歌の主意を正確に現代語に訳しなさい。

問三 空欄Cには、どのような意味の語が入っていたのでしょうか。最も適当と考えられる一語を書きなさい（表記は漢字でも平仮名でも構いません）。

問四 傍線部D「あらまし事」とは、どのような意味でしょうか、説明しなさい。

問五 傍線部A「古今」とは、古今和歌集のことです。古今和歌集の内容ならびに後世に与えた影響について、知るところを述べなさい。

二次のA群から二つ、B群から一つを取りあげ、あなたの知るところ、および考えを自由に記しなさい。それぞれ百五十字前後とします。

なお、解答欄の（ ）内には、選んだ項目を記入してください。

#### A群

- 1 泉鏡花「高野聖」
- 2 石川啄木「時代閉塞の現状」
- 3 志賀直哉「范の犯罪」
- 4 横光利一「機械」
- 5 村上春樹「ノルウェイの森」

#### B群

- 1 作家論的研究
- 2 ポストコロニアル批評
- 3 雑誌「新青年」

三 次の文章は、「現代仮名遣い」(昭和六十一年内閣告示)の「前書き」の一部です。これを読んで後の問いに答えなさい。なお、設問に関わりのない範囲で、形式を改め、省略しているところがあります。

この仮名遣いは、A語を現代語の音韻に従って書き表すことを原則とし、一方、表記の慣習を尊重して一定の特例を設けるものである。

この仮名遣いは、「ホホ・ホオ(類)」「テキカク・テツカク(的確)」のようなB発音にゆれのある語について、その発音をどちらかに決めようとするものではない。

C歴史的仮名遣いは、明治以降、D「現代かなづかい」(昭和二十一年内閣告示第三十三号)の行われる以前には、社会一般の基準として行われていたものであり、今日においても、歴史的仮名遣いで書かれた文献などを読む機会が多い。またこの仮名遣いにもE歴史的仮名遣いを受け継いでいるところがあり、この仮名遣いの理解を深める上で、歴史的仮名遣いを知ることが有用である。

問一 「現代仮名遣い」は、傍線部Aのような原則によっているため、歴史的仮名遣いにおいて用いられる仮名のうち、「現代仮名遣い」では用いられないものがあります。その仮名を二つあげて、それらの仮名が、本来、どのような発音を表わしていたものか、説明しなさい。

問二 傍線部Bによれば、「類」にあたる語の発音と仮名遣いは、どのように考えればよいか、説明しなさい。

問三 傍線部Cの「歴史的仮名遣い」は、どのような原則にもとづくものか、説明しなさい。また、その原則を初めて明らかにした江戸時代の人物の名前とその書名を書きなさい。

問四 傍線部Dの「現代かなづかい」と前後して告示された戦後の日本語表記に関する規定を二つ、あげなさい。そのうち、漢字表については、昭和二十一年に告示された名称を正しく記すこと。

問五 「現代仮名遣い」のうち、傍線部Eに該当する例として、性質の異なるものを三例、あげ、「ハ行転呼・四つ仮名・才段長音」という語を用いて、それぞれの背景を説明しなさい。

受験番号				
氏名				

二〇二一年度 学士入試

採点欄

問一

問二 修辞の名称〔 〕〔 〕

働き

現代語訳

問三 〔 〕〔 〕

問四 〔 〕

問五

Vertical dotted lines for writing answers to questions 1 through 5.

A群

(

)

B群

(

)

問一

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

問二

.....

.....

.....

.....

.....

問三

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

問五

.....

.....

.....

.....

.....

.....

人物の 名前〔 〕 書名〔 〕

問四 〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕